

日本山岳写真協会ニュース

日本山岳写真協会(Japan Alpine Photographers Association)

4月号

2020年4月15日発行
(第471号)

〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町15番4号 第一原嶋ビル502号
TEL/FAX(03)5357-7387 日本山岳写真協会

メールアドレス japa@lime.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.japa.server-shared.com/>



「春 暖 の 頂 へ」

清水 俊一郎会員 撮影

会員の皆様へ協会事務所電話等の問い合わせについて

協会事務所は係が常駐していませんので、問合せ、連絡等は担当理事宛にて電話ないしメールで、直接連絡をお願いします。

(総務)	岩本 直樹 (入退会、休会、名義申請等)	046-256-1422	inaoki@wonder.ocn.jp
(会計)	瀬戸口隆司 (年会費、会費振込等)	03-3929-4459	bachseto@yahoo.co.jp
(写真展)	清水 隆雄 (協会展、公募、選抜展等)	042-563-5778	tshimizu39@comet.ocn.ne.jp
(会報)	飯田 信義 (原稿掲載依頼、DM 掲載等)	048-931-0526	iida_nobu_1413_photo@ybb.ne.jp
(企画)	渡辺 良 (月例会等)	047-479-0511	watanabe_makoto817@yahoo.co.jp
(HP)	鈴木 菊雄 (協会 HP 掲載依頼等)	047-184-0702	suzu99@d9.dion.ne.jp

◎「新型コロナウイルス」感染拡大防止の為に当協会でも多くのイベントが中止、又は延期となっているものがあります。そこで電話での問い合わせ等がありますが常駐しておりません。上記の理事の方々に連絡をして下さい。

『来年こそは』

関西支部 矢谷 朝一



私が山らしい山に登り始めたのは、今から40数年前、まだ二十歳頃のころでした。学友から「比良山に行かへんか。」と誘われ、比良山がどんな山かもよく分からず、そもそも登山がどんなものかも分からないまま道具を揃え、もう一人を誘っての初登山でした。

ところが、誘ってきた本人も含め3人とも全くの初心者で、歩くペースが全く分からず、ゼイゼイ言いながらの苦行のような山行でした。

しかも、宿泊を予定していたロッジは休館日。今考えればとんでもない登山者です。

幸い、素泊まりのつもりで食料とシュラフは持参していたので、沢沿いの平らなところにマットを引き、真っ暗な中、風の音にピクつきながら長い夜を過ごしました。

しかし、この滅茶苦茶な山登りですっかり山にハマってしまい、その後も山好きグループと六甲山や京都北山など、関西の山を登ってきました。

初めての3,000m級の山は、入門コースとして定番の表銀座でした。

この時の山行も忘れられません。9月の連休でしたが、季節外れの雪に見舞われ、槍ヶ岳山頂までもう少しというところで断念。当時、頂上直下には杭が一本打ち込んであるだけで、無事に登る自身はありませんでした。「来年、また来よう。」そう思いながら引き返すことになりました。

翌年、時期を早めて7月下旬、高瀬ダムからの裏銀座コースでした。初日の登り始めこそ良かったものの、三俣辺りからは戻り梅雨の影響で大雨に。体調を崩したメンバーも出て、「来年こそは。」と双六から下山です。

その翌年は、折立から高天が原経由で槍ヶ岳へ。この年も天候には恵まれず、増水した薬師沢を靴を脱いで渡渉したり、鷲羽岳の稜線では強風に煽られたりと、散々な山行でしたが、なんとか槍ヶ岳登頂を果たしました。景色はさっぱりでしたが、3年越しの槍ヶ岳登頂に感動も一入でした。

その後は好天の山行に恵まれ、立山、後立山、槍・穂高と「来年こそは」から「来年もまた」と変わってきましたが、今日まで山登りが続いているのは、当時の「来年こそは」という思いが強かったからだと思います。

ここ10年ほどは、ピークを目指す山登りから、写真撮影の山登りへと変わってきています。お気に入りの撮影ポイントに三脚を立て、シャッターチャンスをとじっと待つ。私にとって、何物にも代え難い至福の時間です。

しかし、作品作りとなるとなかなか思うようにはいきません。シャッターを切った瞬間は「やったー!」と思っても、帰って画像を見るとガッカリすることの連続です。

今は、写真撮影が「来年こそは」となっています。

5月号の予告

表紙 北陸支部
巻頭言 松本支部

2月定例理事会議事録

日時 令和2年2月20日(木)
午後6時30分～8時45分
場所 日本山岳写真協会 事務所
出席者 青山・飯田・伊藤・岩本・大石
上ヶ平・小堀・鈴木(菊)
町田・渡辺
川井・鈴木(克)・花香
大村・関口・曾布川・緑川
17名
(司会)大石 (記録)岩本

議事

1 会員の入退会について

- 退会者 5名
No.364 保坂 広 (山梨県甲府市)
No.1061 江川 聡 (愛知県碧南市)
No.1060 堤 志行 (群馬県高崎市)
No.649 池田 則章 (富山県富山市)
No.601 梅津 敏章 (長野県伊那市)
- 所属変更
No.1117 大橋 隆志 (富山県富山市)
(公募→北陸支部へ) 2020年1月より
- 住所変更 5名 表記は新住所
No.896 石川 邦生
〒939-8062 富山県富山市上堀南町59
No.750 加藤 雅彦 〒509-5122
岐阜県土岐市土岐津町土岐口804-6
No.944 古島 大郎 〒242-0007
神奈川県大和市中央林間2-6-20
No.440 前羽 光雄 〒214-0012
神奈川県川崎市多摩区中野島6-4-6 216号
No.935 白井 啓道 〒174-0042
東京都板橋区東坂下1-14-2 201
以上 退会者5名・所属変更1名の承認と
5名の住所変更報告を報告した。

2 各委員会報告について

- 総務(岩本副理事長) 新年会の招待者16名(欠席で景品提供社含む)と会員4名にお礼状を発送した。
- 会計(小堀・町田理事) 総会・新年会の会計精算が未決なので3月理事会で報告する。
- 会報(飯田副理事長) 2・3合併の会報は32頁構成で17日入稿した。カレンダー応募要項・令和元年の決算報告・DM(関西支部展・選抜展)などを同封する。
発送は月末の予定。3月会報は休刊とする。
- I/T(鈴木菊雄理事) ホームページの更新作業を3月10日頃までに作業する。
理事・委員のメールアドレスの確認をお願い

いする。

- 企画(渡辺理事) 5月28日の月例会会場使用の申し込みを3月28日行う。
- 写真展(花香副会長) 協会展DMはがきに掲載する後援(日本山岳スポーツ・クラ イミング協会と東京都写真美術館)の「協力」の回答があった。
2月7日 東京都美術館で使用の半年前の打ち合わせ会に3名が出席した。
2月13日 都美術館へ2021年会場使用の申し込みの申請書を郵送した。
2月15日 写真展委員会で今年の協会展の今後の予定について8名が出席して打ち合せをした。
3月11日 令和4年以降の都美術館使用についての説明会に2名が参加予定。

3 総会・新年会を振り返って(総務・企画)

- 総会 78名が出席し、委任状228名、特に問題がある質疑もなく時間通り無事終了したと思う。
- 新年会 招待者は13名が出席した。景品も11社と会員4名が提供した。飲み物、料理などについて特に問題はない。
会員の出欠葉書で参加申し込み者が、開始日の数日前に10名ほどがキャンセルした。会計上問題があるとの意見があり対応を協議した。また規定日以後の申し込みなど、会報で9月の祝賀会から注意事項として掲載予定。

4 協会展・公募展・カレンダーについて(花香副会長・鈴木(菊)理事)

- 協会展・公募展(花香副会長)
2020年度の協会展・公募展の応募期間は3月13日(金)～21日(土)までとした。その期間中に作品受付当番者の確認をした。特にデジタル作品のデータ入力CD版について、事前にできる範囲で内容調査する。作品審査は4月4日(土)と5日(日)を午前10時から行う。また写真展委員7名と応援4名は9時30分に集合し準備する。不採用のフィルム原版のみ中旬に返却予定。
- 公募作品受け付けは協会展と同時期間としている。公募受け付け時に封筒に番号を記載する。
令和3年度の公募チラシ案を3月末までに計画する。来年度から公募展の応募期間の短縮を検討している。PRのポスター作製前に理事会で協会展と共に検討し決めたい。

- カレンダー作品の応募が4月11日の午後1時～5時で担当者1名が対応する。作品審査は4月16日午後2時からを予定し、応援3名とフォト信州の佐々木氏が参加する。
- 山岳写真セミナーの9月1・2日の会場使用申し込みをした。3月5日に抽選発表予定。会場使用当選後1週間以内に使用料金を納付する。セミナーは9月1日に関西支部が、2日には山梨支部が担当予定。

5 I・T設備品について

(鈴木菊理事・上ヶ平理事)

協会で使用しているPCが7年を経過しているため、新パソコンの購入を昨年より検討して予算化している。購入時期について意見交換した。特に高性能なものは必要ないので、見積は1月中旬エプソンのスタンダードモデルのデスクトップ型ウィンドウズ10「MR8100型・64ビットHOME」を予定している。

協議の末、購入することを決めた。今年の協会展の作品整理作業前に準備する。

6 協力宿泊施設について (大石理事長)

会員からの紹介で長野県白馬村の某民宿で当協会の「協力宿泊施設」に協力したいとの紹介があり、その民宿の紹介状とパンフなどが送られてきたことを報告した。詳細についての検討を3月理事会で再度対応を協議することにした。

7 会報発送について (上ヶ平理事)

現在の会報に同封する物の内訳などを説明した。発送先は会員(支部会員含む)・休会者・名誉会員・会友のほか諸団体(約80か所)である。郵送物の仕分けを簡素化するため、特に夫婦会員と会友について協議した。夫婦会員については1名分の資料を送る。会友には会報のみを発送することを決めた。休会者は休会期間中には会報とDMのみで、休会解除後の翌月から会費請求・総会・祝賀会の出欠はがき、協会展応募票などを発送する。

8 その他

○協会展の案内はがきに掲載する名義使用について、「日本山岳・スポーツクライミング協会」・「日本写真協会」から「後援」の通知が届いた。

○協会の移転先

(公益社団法人)

日本山岳・スポーツクライミング協会

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号

JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 807

電話 03-5843-1631

■次回理事会案内 令和2年3月19日(木)

午後6時30分～ 協会事務所にて

※今回の新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、3月の理事会は中止になりました。

協会よりのお知らせ

このたびの「新型コロナウイルス」感染拡大防止につきましては会員各位の注意、外出の自粛などが必要かと思われます。

協会でも数多くの写真展、月例会、撮影会などを予定しておりましたが、やむを得ず、中止又は延期をせざるを得なくなりました。

◎中止したものは次の通り(3月以降のもの)

○4月7日～12日 関西支部展 京都市京セラ美術館

○4月16日～22日 選抜展 東京・四谷ポートルート会場

○4月7日～12日 南信支部 飯田移動展

○5月5日 デジタル研究会 相池自然園での撮影会

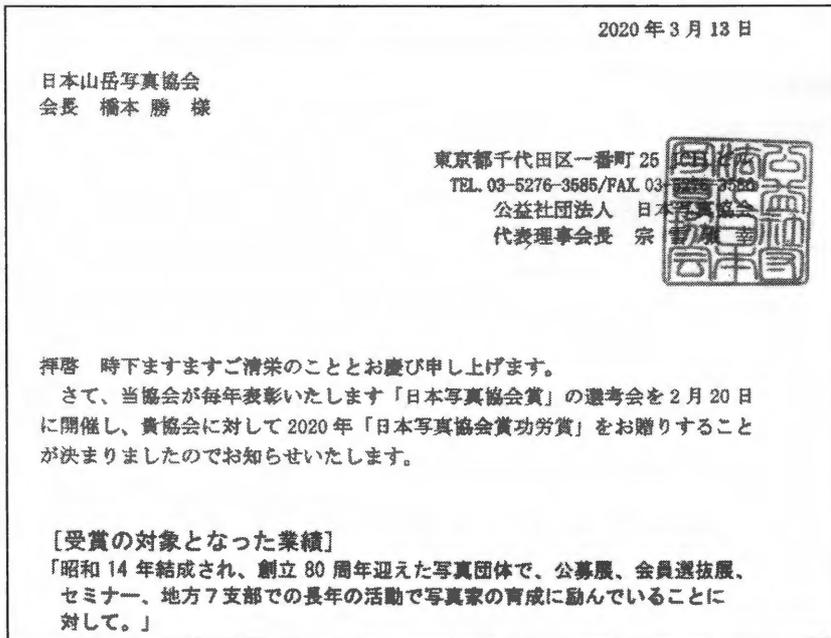
この他には3月26日の月例会、5月28日の月例会、4月2日のデジタル研究会、又写真展として三枝仁也氏、曾布川善一氏、あすなろ写真会などが中止となりました。

◎会員の皆様には何かとご迷惑をお掛けしますがご理解・ご協力をお願い申し上げます。

日本山岳写真協会が 日本写真協会(PSJ)賞で「功労賞」

2020年3月13日付で日本写真協会より2020年「功労賞」が決定となった。受賞理由としては「昭和14年に結成され、創立80周年を迎えた写真団体で公募展、会員選抜展、セミナー、地方7支部での長年の活動で写真家の育成に励んでいることに対して」としている。

なお表彰式は2020年6月1日に東京都港区三田・笹川記念会館で予定されている。



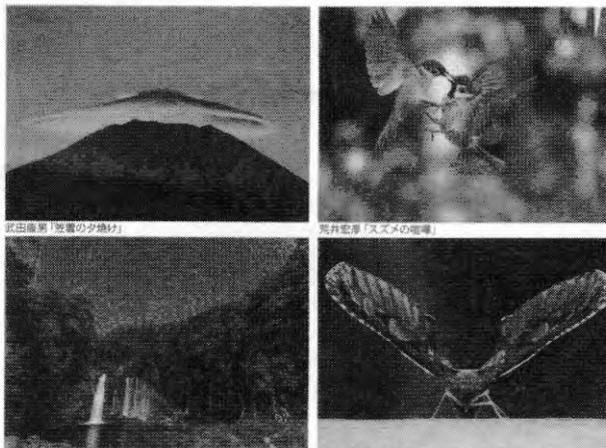
2020 日本写真協会賞 受賞者一覧

賞名	受賞者	受賞理由
作家賞	石川 直樹	最近作の写真集「EVEREST」や「まれびと」にも見られるように、膨大な冒険と様々な土地での民俗学的記録、その確立つ作家活動に対して。
新人賞	池田 宏	アイヌの友人たちの懐に入りながら旺盛にコミュニケーションを続けて、10年間にわたり作品を作り続けている成果に対して。
	GOTO AKI	絶え間なく流動する地球(terra)の表情を、日本各地の名所や絶景にとどまらず、生命の胎動として表現した作品に対して。
国際賞	マーク・ピアソン	来日30年、アジアの写真に目を向け、「輝フォトギャラリー」を設立。展示や写真集などをプロデュースすると共に収蔵家としても活躍。その功績に対して。
功労賞	宮澤 孝一	70年を超える鉄道写真のオーソリティー。特に、「踏面電車」において、その時代の町たたずまいと、そこに暮らす人びとの姿を記録し続けた功績に対して。
	日本山岳写真協会	昭和14年に結成され、創立80周年を迎えた写真団体で、公募展、会員選抜展、セミナー、地方7支部での長年の活動で写真家の育成に励んでいることに対して。
学芸賞	東京大学史料館 古写真研究プロジェクト 谷 昭佳	古写真による「幕末・明治の日本」を政治経済、社会にまで視野を広げて、写真の果たしてきた役割や実績の解析を調査した、研究に対して。

写真展案内

第41回 SSP 展 「自然を楽しむ科学の眼 2020～2021」

第41回 **SSP** 展「自然を楽しむ科学の眼2020-2021」 一般社団法人 日本自然科学写真協会
後援 環境省



武田隆男「筑紫の夕陽射す」
荒井健作「月虹と北天の日月連動」
河野孝和「美しい朝のアカヘリハネナガツル」
荒井健作「スズメの産卵」

富士フィルムフォトサロン
 ■ 東京展 2020年6月 5日(金)～6月11日(木)
 ■ 札幌展 2020年6月19日(金)～6月24日(水)
 ■ 大阪展 2020年7月17日(金)～7月23日(木)

■ 新潟展 水の駅「ビュー福島潟」
2020年8月1日(土)～8月30日(日)

■ 富山展 富山市科学博物館
2020年9月19日(土)～10月11日(日)

■ 京都展 AMS写真館ギャラリー
2020年11月6日(金)～11月11日(水)

■ 島根展 島根県立三瓶自然館サヒメル
2020年12月19日(土)～2021年1月24日(日)

■ 広島展 5-Days ども文化科学館
2021年2月13日(土)～3月7日(日)

■ 岡山展 岡山シティミュージアム
2021年3月13日(土)～3月28日(日)

■ 宮崎展 宮崎県総合博物館
2021年4月24日(土)～6月6日(日)

SSP (日本自然科学写真協会) 事務局 〒102-0076 東京都千代田区五番町7-6ヒルカザ五番町204 TEL・FAX 03-3264-3383 E-mail:ssp@ssp-japan.org HP: https://www.ssp-japan.org

◎日時 6月5日(金)～6月11日(木) ほかに全国9ヶ所で順次開催

◎会場 富士フィルムフォトサロン／東京

○JAPA から川口 邦雄、岩本 直樹が出品

デジタルモノクロームの 美



「里」撮影：中川 淳

写団創美 写真展 V

後援 公益社団法人 日本写真協会

井上のぞみ 岩瀬 武 岡 孝雄 岡野和江 金武 治 上ヶ平裕彦 桐谷英克
黒澤利雄 鈴木隆志 瀬戸口隆司 代 政雄 中川 淳 名取 洋 村上清美

2020年6月25日(木)～7月1日(水)
平日10:00～18:00/土日祝 11:00～18:00 会期中無休
(最終日は15:00まで) 入場無料

Portrait Gallery
ポर्टレートギャラリー

〈デジタル モノクロームの美〉 写団創美 写真展V

- ・会期＝2020年6月25日(木)～7月1日(水)
- ・会場＝ポर्टレートギャラリー (新宿区四谷 1-7-12)
- ・JAPA から
岡 孝雄、上ヶ平 裕彦、鈴木 隆志、
瀬戸口 隆司、名取 洋が出品。

写真展案内

岡 孝雄 写真展 『回想の山・谷川岳』



- 2020年6月11日(木)～9月10日(木) 9時～20時 (年中無休・入場無料)
- 谷川温泉 旅館たにがわ 橋本勝 谷川岳フォトギャラリー内 (みなかみ町谷川 524-1 0278-72-2468)

写真展案内

フォトグループいぶき 四季のいぶき写真展

2020
四季のいぶき 写真展
富士フィルムフォトサロン 東京(六本木)
2020年5月1日(金)～7日(木) 10時～19時(最終日16時)

浅野 正平	小村 亨	島野 敏夫	西 幹雄	本田 利幸
綾部 弘志	斉藤 松一郎	白石 市三	根岸 貢	舞坂 武光
井上三喜男	齋藤 義照	鈴木 宏	初谷 裕子	松下 照子
上野 久	佐伯 享子	竹内 宏	羽根 和良	矢島 幸雄
大木 嘉 毅	佐々木 秀久	田上 正富	早坂 圭二	吉井 道郎
加藤 誠	佐藤 和郎	戸張 真	平子 正	渡辺 洋治
河村 伴江	柴田 邦彦	富田 則義	本田 君子	

大・中判 銀塩写真で描く日本の風景。フィルム表現の
透明感のある豊かな色彩をお楽しみ下さい。

ギャラリートーク：5月1日(金)・3日(日)・5日(火) 13時30分～約30分

PHOTO GROUP いぶき
後援 公益社団法人日本写真協会

日時 2020年5月1日(金)～7日(木)
10時～19時(最終日16時迄)
会場 富士フィルムフォトサロン/東京
東京都港区赤坂 9-7-3
フジフィルムスクエア内
Tel 03 (6271) 3351

◎下記の JAPA 会員が出品
加藤 誠、柴田 邦彦(順不同)

協会展作品審査延期のお知らせ

写真展審査委員会

新型コロナウイルスの影響で4月4～5日予定の作品審査を、5月9～10日に延期しましたのでお知らせします。審査結果の通知は5月下旬、DMはがきの発送は6月中旬を予定しています。8月31日開催に向けての準備は、状況を見ながら進めていきます。会員の皆様には何かとご迷惑をお掛けしますが、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます（協会HPにも掲載）

表紙の言葉 

「春暖の頂へ」

南信支部 清水俊一郎

「3月初旬、この時期でも多くの登山者を迎える中央アルプスは国内でも有数の氷河地形を有する山域。この希少な地形を守るため、今年国定公園とし、特別保護区が設定されます。雷鳥の復活にも期待したい。」

No.1080 作道 暁（北陸）

〒930-0882

富山県富山市五艘（ごそう）1376-1

FAX 変更

No.652 黒岩 誠

0956-23-6647 → 0956-22-8357

所属変更

No.1117 大橋 隆志 本部 → 北陸

退会

No.1113 植竹 史治（物故）

No.1072 片山 響

No.1057 山本 晃生

No.1098 矢作 英夫

No.1034 河地 尚志

No.617 櫻井 信夫

No.597 若松 稔

No.1128 坂本 登

会員往来

住所変更

No.986 熱田 行宏

〒288-0063 千葉県銚子市清水町 1430

No.1003 高井 統

〒421-0115 静岡県静岡市駿河区みずほ
1-19-1 イーグルⅡ 202号

No.1052 延江 佳子

〒391-0301 長野県茅野市北山 5513-243
蓼科ビレッジにしき平 78号

No.896 石川 邦生（北陸）

〒939-8062 富山県富山市上堀南町 59

No.750 加藤 雅彦（南信）

〒509-5122

岐阜県土岐市土岐津町土岐口 804-6

日本山岳写真協会 事務所

〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町15番4号
第一原嶋ビル502号

TEL/FAX.(03)5357-7387

事務所には常駐しておりません

会報担当：飯田信義・上ヶ平裕彦